

# 令和3年度学校経営計画

府中町立府中北小学校長 黒山 寛司

## I 基本方針

府中町立府中北小学校は、公立学校としての使命や役割を自覚し、

- 学校教育を通してよりよい社会をつくるという理念を学校と社会が共有し、そのためにどのような資質・能力を児童に身に付けさせるのかを明確にする。(学習指導要領)
- 一人一人が、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造する人づくり(広島県教育委員会主要施策実施方針)
- 「あいさつ 感謝 志」をキーワードとした社会総ぐるみの人材育成(府中町教育振興基本計画)

これらを基軸とした諸教育活動を通して、学校教育目標の実現につなげていく。

## II 校訓ならびに学校教育目標

「自ら育つ」

## III 学校経営方針

### 1 本校の使命(ミッション)

確かな学力と社会性を身に付け、健やかな体を土台とし、自ら伸びようとする意欲と実践力を備えた児童を育成する。

### 2 進むべき方向(ビジョン)

#### (1) 目指す学校像

##### ○ 子どもが心豊かに育つ学校

自己有用感を育て、互いの良さを認め合う子ども、見通しを持って物事に主体的・協働的に取り組む子どもを育てる。

##### ○ 教職員がいきいきと仕事に打ち込む学校

校訓を胸に、各教職員が協働して教育力を最大限に発揮する。

##### ○ 家庭・地域から信頼され、総ぐるみで育てる学校

家庭・地域に支えられ、安心・安全が保たれていることに感謝して、協力して共に歩む姿勢を持つ。子どもたちが安心して成長する姿を示し、信頼を築いていく。

#### (2) 目指す児童像

##### ○ 互いの良さを認め合い、共に育つ子 — 人権意識の涵養

##### ○ 見通しを持ち、自ら意欲を持って学ぶ子 — 学校教育目標の共有

##### ○ 夢や目標を持ち、粘り強く挑戦する子 — 何のために学ぶのかを明確化

「自己を認識し自分の人生を選択し、表現することができる力」へつなげる

#### (3) 目指す教師像

##### ○ 教育公務員としての責任と自覚をもつ教師 — 不祥事の根絶、児童の模範となる

##### ○ 組織の一員として誇りを持ち協働する教師 — 組織的対応、スピード感

##### ○ 日々研鑽し資質・能力を向上する教師 — 授業改善、向上心

## IV 学校研究主題(府中中学校区共通)

「主体的・対話的で深い学びの創造」

- できる喜び・わかる喜び・関わる喜びの実現を目指して

～ 基礎基本の定着を図り、児童が喜びを味わえる活動の在り方 ～

V 取組の重点（中期経営目標・短期経営目標）☆は学校自己評価項目 ◎は全員業績評価（自己申告書）の目標設定項目に入れる

	短期経営目標	具体的取組
確かな学力	(1) たゆまぬ授業改善（学ぶ意欲を高め、わかる授業の創造）を基盤とした基礎学力および活用力の向上 ☆	○ 課題発見・解決学習（パフォーマンス課題・パフォーマンス評価）をベースとする授業づくり ○ 学ぶ喜びサポート事業指定を基軸とした「つまづき」への支援システムの構築・展開 ○ 校内研修以外に平時より教職員相互参観の機会を設け、授業力の向上を図る。
	(2) 小中による指導の方向性の共有	○ 「生活科」「総合的な学習の時間」を中心とした系統的・発展的なカリキュラム整備 ○ 中学校区での指定「探究的な学習の在り方に関する研究推進事業」に係る単元開発
	(3) 家庭学習の充実 ☆	○ 家庭学習の手引きを活用し、自学ノートおよびぐんぐんカードの取組の充実を図る。
	(4) 英語科・外国語活動の充実	○ ALTおよび校内JLTの活用を活かしたHRT主導の授業づくり
豊かな心	(1) 生徒指導の充実・人権意識の醸成（「自分も相手も大切にす豊かな心」の育成、あいさつ）☆	○ 積極的な生徒指導の推進、全教職員による一貫した指導体制（誰でも、いつでも、どこでも同じ指導をする） ○ いじめの未然防止、早期発見・早期対応、いじめを許さない風土の醸成 ○ 生徒指導の三機能を生かした授業の工夫 ○ ピア・サポートとS.S.Tの充実 ○ あいさつ運動、あいさつ道の取組 府中町基本目標；「あいさつ 感謝 志」との連動
	(2) 道徳教育の充実（授業改善）	○ 問題解決学習や体験的な学習を取り入れる ○ 自己とのかかわりで、「考え、議論する」道徳 ○ 指導と評価の一体化 ポートフォリオの活用
	(3) 小中連携（生徒指導担当者会を中心として）の充実 ☆	○ 中学校区各校の実態を把握し、特に児童の中学校進学時の連携をスムーズに行う。 ○ 探究的な学習の在り方に関する研究の推進と学習規律に関する指導の徹底と系統表の見直し（生徒指導担当者会との連携）
	(4) 特別活動・体験活動の充実（期待する効果およびねらいや位置づけの明確化）	○ 各教科・総合的な学習の時間や道徳の時間などとの関連 ○ 児童による主体的な（自発的・自治的）活動の展開
	(5) 特別支援教育（児童一人ひとりに応じた合理的配慮）の充実	○ 主体的な学びを促すユニバーサルデザインの授業づくり ○ 校内委員会の充実と具体的方策の考案・実施
健やかな体	(1) 体力・運動能力の向上（体力づくりの推進）☆	○ 推進計画に基づいた指導の共有化 ○ 学校共通のからだの基盤づくり（パワーアップ体操等）の実施 ○ 体育朝会等による啓発および指導内容の共有 — 意欲の向上
	(2) 基本的な生活習慣の確立 ☆	○ 健康的な生活習慣づくり（早寝、早起き、朝ごはん） ○ 保健だより等による保護者への情報発信および啓発 ○ 生活リズムカレンダーの取組と評価による習慣化
	(3) 食育の推進	○ 郡教研や栄養職員研修会等との連携による食指導の充実及び啓発 ○ 給食指導の充実（栄養職員による指導、完食賞の取組）
信頼される学校	(1) 学校力・チーム力の向上 ☆	○ 教職員 — 分掌部会の充実、組織的な学校運営 ○ 児童 — ピア・サポート活動、児童会活動の充実、学校行事等を通して主体的に活動する態度の育成 ○ 外部連携 — 幼保小連携、小中連携、PTAとの連携、地域各団体との連携
	(2) 業務改善の推進・加速 ◎	○ 研修（熟議）による、成果・課題の洗い出し、スモールステップでの改善の蓄積 ○ 個々の教職員による、見通しを持った勤務管理（定時退校日および完全実施日の設定） ○ 面談等を通じた教職員の心身の状況の把握および早期対応
	(3) コミュニティスクールの充実 ☆	○ サポートする側のやりがい、参画・貢献意識の高まり、サポートされる側の学習の深化・効率化等によるメリット、という互惠関係の確立（地域人材の積極的活用） ○ 学校運営協議会によるイニシアティブおよび積極的提言の教育活動への反映
	(4) 危機管理体制の充実	○ 危機管理マニュアルの徹底 — 災害発生時等の迅速かつ的確な対応（最悪を想定し、慎重に、素早く、誠意をもって、組織的に）、新型コロナ感染防止対策を恒常化した生活スタイル（ウィズコロナからゼロコロナへ） ○ 不祥事防止研修の充実 — 定期的に自己及び組織の状況を「点検」し、「不祥事の完全ゼロ」を目指す。